

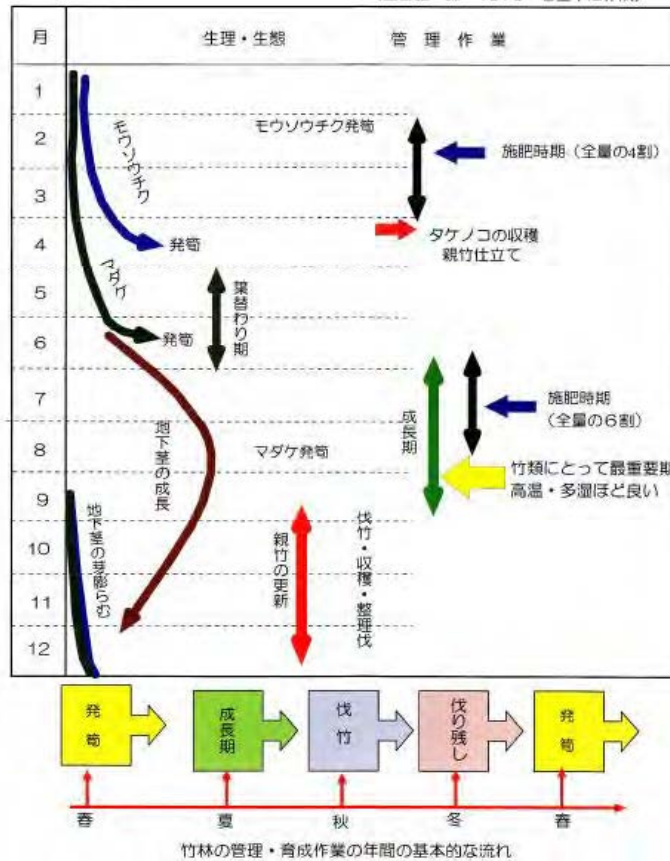
里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

分類	計画策定と実行プロセス／バイオマス等資源活用
手法名	竹林整備における整理伐と目的にそった栽培技術の導入
主体	日本特用林産振興会
背景(地域の課題)	<p>放置竹林が全国各地で課題となっている。対策として、地域の状況に応じた伐採管理方法と目的に応じた竹材やタケノコ生産林の再生及び活用方策が求められている。</p>
手法／方策の詳細	<p>放置竹林整備にあたっては、地域状況に応じた伐採管理と目的に応じた栽培技術の導入が不可欠である。伐採から管理活用に至る各段階において下記の手法があげられる。</p> <p>1) 整理伐 「整理伐」とは、広義に、放置竹林や拡大竹林などの荒廃した竹林を栽培管理竹林へと移行させることを目的とした作業の総称。作業工程としては、①竹林状況の観察と整備手順の決定、②整理する必要のある個体を調べマーキング、③マーキングした不要の竹を伐竹、④伐竹した竹の枝払い、⑤一定の長さに玉切り、⑥玉切った竹を林内に残す場所まで運搬し積み上げる棚積み、がある。</p> <p>2) 竹林管理の指針 竹林の活用タイプによって管理方法が異なるが、特に立竹密度をどのように管理するかが重要である。</p> <p>・竹材林の管理 竹材活用を活用目的とする竹材林においては、モウソウ竹林の中径林では6,000～7,000本/ha、マダケ林の中径竹林では8,000～10,000本/haの切り残しが適正本数とされる(表1)。 それによって、モウソウ竹林においては800本/ha(13t/ha)、マダケ林においては1,300～2,000本/ha(6.9～10t/ha)の収穫が期待できる(表2)。</p> <p>・タケノコ栽培林の管理 成長期の立竹本数を2,100～3,450本/ha(一坪に1本前後)を目安に管理。伐採後の立竹を重視した母竹の更新を行うことがポイントとなる(表3)。 また、「京タケノコ」(京都)、「合馬タケノコ」(北九州)では、集約栽培による生産が行われており、土入れ、施肥などを実施する。ブランド品として生産されているタケノコ栽培林の立竹状況は箇所によってばらつきがある。新竹の発生本数には大きな違いがないが発生割合には大きな違いが生じることが知られている。</p> <p>・竹材＋タケノコ栽培林の管理 近年竹材生産と観光タケノコ園をめざした管理が増加する傾向にある。放置竹林を管理竹林へ転換する一つのケースとしてアピール力は大きいと考えられる。</p>
手法・技術的視点	<p>放置竹林の対策として、伐採から管理活用のための指針を実証実験に基づきながら数字を挙げて具体的に提示している。整備に先だてて目的に応じた戦略的な竹林経営を考える際に特に参考になると考えられる。</p>

実行プロセス・運営体制のイメージ

竹林管理の作業こよみ

(上田弘一郎：1976 を基本に作成)



竹林の管理・育成作業の年間の基本的な流れ

図・写真資料

表1 伐竹後の立竹密度

(上田弘一郎:1963)

	大径竹林	中径竹林	小径竹林
モウソウチク林			
立竹密度 (本/ha)	4,000 ~5,000	6,000 ~7,000	8,000 ~9,000
平均直径 (cm)	12	10	8
マダケ林			
立竹密度 (本/ha)	7,000	8,000 ~10,000	11,000 ~15,000
平均直径 (cm)	8	6	3

表2 伐竹収穫量

(上田弘一郎:1963)

	大径竹林	中径竹林	小径竹林
モウソウチク林			
本数 (本/ha)	500以上	800内外	1,000以上
生重量 (ト/ha)	19以上	13内外	6.3以下
マダケ林			
本数 (本/ha)	1,200以上	1,300 ~2,000	2,000以上
生重量 (ト/ha)	14以上	6.9 ~ 10	5.3以下

表3

		成長期の立竹		伐竹		伐竹後の立竹		発生新竹	
		本数 (本/ha)	平均直径 (cm)	本数 (本/ha)	平均直径 (cm)	本数 (本/ha)	平均直径 (cm)	本数 (本/ha)	平均直径 (cm)
岸和田市	平成21年	2,100	9.2	0	-	2,100	9.2	450	9.4
	平成22年	2,550	9.2	0	-	2,550	9.2	375	9.2
高知市A	平成21年	2,875	10.9	0	-	2,875	10.9	575	11.8
	平成22年	3,450	11.0	625	10.2	2,825	11.0	700	13.0
高知市B	平成21年	2,675	10.9	50	10.6	2,625	10.9	375	10.3
	平成22年	3,000	10.8	200	11.2	2,800	10.5	475	11.0

参考資料

平成25年度里なび研修会in兵庫県姫路市パワーポイント資料「竹が語る人との関わり」(渡邊政俊)・「竹林管理マニュアル」(日本特用林産振興会)